カウリの種

グループ毎（屋久島・岡山・東京）のカウリ３本に加え、他の木を各自１本植樹。植樹のため掘り続けると、太く大きなミミズが沢山姿を見せ、土壌の良さが伝わりました。

＊東京組みの仲間と植樹したカウリ。　　昨年、植えたカウリなどは順調に成長中。

ホテルに向かう途中、マオリ伝統技術のアクセサリー・ボーンカーピング工房に立ち寄って、お気に入りを求めました。

ホテルでのくつろぎ・癒しに、カウリ・ミュージアムの優しいおもてなしの心と、蘭の香りが、効果的でした。**Kia　Ora!**

デナーの海鮮料理は、
　鮮度も味も抜群でした！
みんなの笑顔も最高でした。

5/16.　19 時、
ナイトツアー　☆★☆★☆　　★☆★

カウリや森の生命の物語と祈りの歌が､闇の森に響き渡りました｡カウリ 2 番目の巨木、森の父といわれる**「テ・マツア･ナヘレ」**、推定樹齢 2000 年。最大直径１６．４１m･樹高２９．９m。雨と暗闇に負け、目でもよく見えず、私のカメラ技能では、撮影もできず残念でした！

また、夜行性の国鳥**・Kiwi キーウイ**、今回も、姿を見ることが出来ませんでした。

森のフォーシスターズ・4 姉妹・4 本の幹が 1 箇所に生えている珍しいカウリ巨木
（葉がついている手前の木を除く・奥の樹木が 4 姉妹)。

暗い森のなかでは、森の父**「テ・マツア･ナヘレ」**への挨拶や祈りの歌に、魂が奪われるような神秘的な雰囲気が漂います。一方、闇と降雨による足元への危険が伴います。

昨年は、個々にヘッドライトが準備されましたが、それでも足元に不安が大きかったので、持参の懐中電灯を活用しました。今回、３人に１個のライトが貸与されましたが、不安･戸惑がありました｡残念ながら､通路のボードからの足を滑らせ､落下･転倒者が出て、その方は、足を引きずって歩くことになりました。